



## ICO複合指標価格(I-CIP)の低下は不確実な世界経済環境を反映

### 生豆価格

- ICO複合指標価格(I-CIP)は2025年7月に平均259.31セントとなり、2025年6月から11.8%減少した。
- コロンビアンマイルドおよびアザーマイルドの価格は2025年6月比でそれぞれ10.5%、10.4%減少し、2025年7月にそれぞれ322.37セントおよび325.50セントを記録した。ブラジリアンナチュラルも同期間に12.3%下落し297.04セントとなった。ロブスタは最も大きく反落し、14.8%減の167.19セントを示した。
- コロンビアンマイルドーアザーマイルドの価格差は2025年6月から7月にかけて-3.08セントから-3.13セントへ縮小した。
- ロンドンとニューヨークの先物市場間で測定されるアービトラージは2025年7月に135.74セントとなり、-7.2%縮小した。
- ICO複合指標価格の日中変動率は2025年6月比で0.1ポイント低下し、2025年7月に平均10.2%となった。
- ロンドンにおけるロブスタの認証在庫は2025年6月から7月にかけて35.8%増加し、月末在庫は118万袋となった。アラビカの認証在庫は逆に縮小し、83万袋(60kg換算)にとどまり、6月比8.1%減少した。

### コーヒーグループ別輸用量 - 生豆

- 2025年6月の生豆輸用量は1,023万袋となり、2024年6月の991万袋から3.3%増加した。内訳は以下の通り。
- コロンビアンマイルドは2025年6月に前年同月比9.0%増の110万袋(2024年6月は101万袋)を達成した。
- アザーマイルドは同期間に14.8%増の271万袋(2024年6月は236万袋)となった。
- ブラジリアンナチュラルは21.3%減の251万袋(2024年6月は319万袋)に落ち込んだ。
- ロブスタは16.9%増の392万袋(2024年6月は335万袋)を記録した。
- コーヒー年度2024/25年の1~9月(2025年5月まで)における生豆総輸用量に占めるアラビカの割合は、前年同期の61.4%から62.9%へ拡大した。

### 地域別コーヒー輸用量 - 全形態

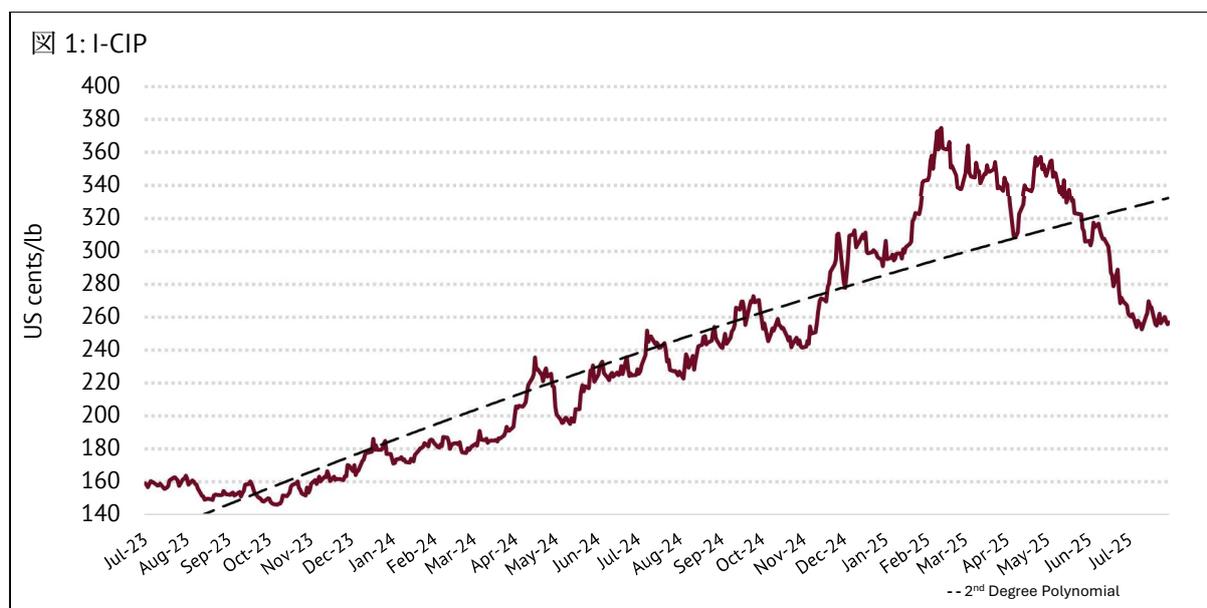
- 2025年6月、アジア・オセアニアからのコーヒー全形態輸用量は2024年6月の241万袋から38.6%増加し334万袋となった。
- 2025年6月、アフリカからのコーヒー全形態輸用量は2024年6月の171万袋から28.1%増加し219万袋となった。
- 2025年6月、南米からのコーヒー全形態輸用量は2024年6月の508万袋から18.1%減少し416万袋となった。
- 2025年6月、メキシコ・中米からのコーヒー全形態輸用量は2024年6月の169万袋と比較して18.0%増加し200万袋となった。

### 形態別コーヒー輸用量

- ソリユブルコーヒー輸出総量は2025年6月に2024年6月の94万袋から47.2%増加し135万袋となった。
- 焙煎豆輸用量は2025年6月に2024年6月の5万袋から58.1%増加し8万袋となった。

## 生豆価格

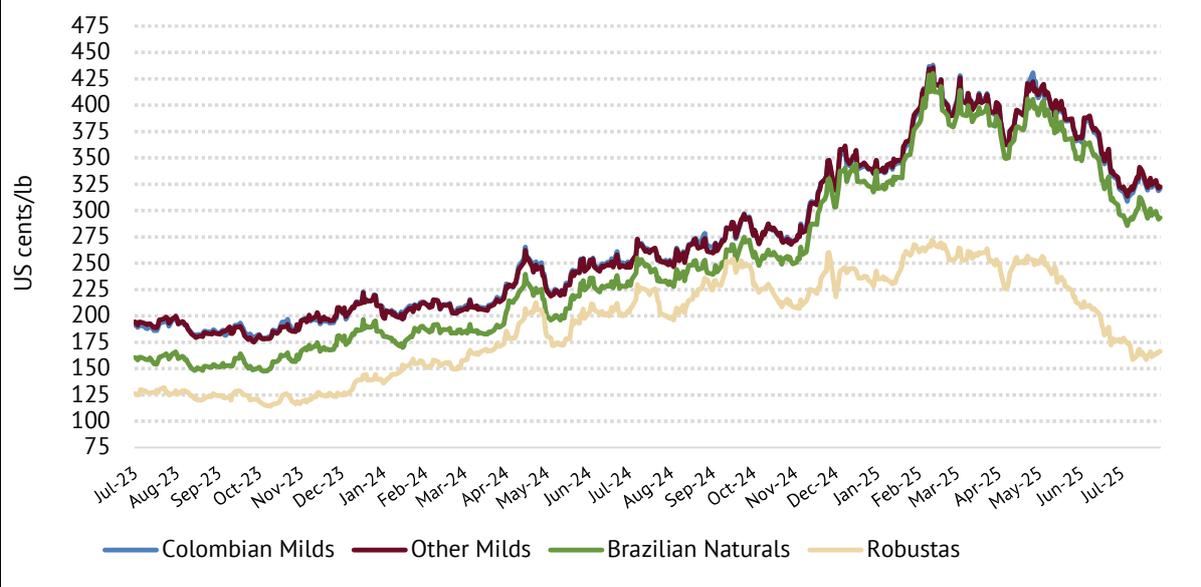
2025年7月におけるI-CIP(ICO複合指標価格)は平均259.31セントとなり、2025年6月から11.8%減少した。中央値は258.78セントで、252.46セントから269.57セントの範囲で推移した。7月を通じて下落傾向が継続した。2025年7月のI-CIPは2024年7月比で9.6%高く12カ月移動平均は296.29セントである。



2025年6月比でコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格はそれぞれ10.5%および10.4%下落し、2025年7月の平均は322.37セントおよび325.50セントとなった。ブラジルナチュラルも12.3%下落し、同月は297.04セントとなった。ロブスタが最も大幅に縮小し、14.8%減の167.19セントを記録した。ロンドン国際商品取引所（ICE）市場の価格は16.3%下落し153.43セント、ニューヨークICE市場は12.3%減の289.17セントとなり、9か月ぶりの安値を示した。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices

図2：ICOグループ指標価格



2025年7月、市場に下落圧力をかけた主な出来事は以下の通り。

- 需給状況が改善し、基礎的条件がより好転しており、2024/25コーヒー年度は供給過剰になると見込まれている。
- ブラジルでの収穫が改善し、7月を通じた週間の進捗状況は、2024/25作期のペースを上回っている。Safras & Mercado社によれば、7月23日時点でブラジルの収穫は84%完了しており、昨年の81%と比べて進んでいる。
- アメリカ合衆国（US）による新たな輸入関税の発表により、世界経済全体に不確実性がもたらされた。2025年8月4日、英国国家経済社会研究所（National Institute of Economic and Social Research）は、現在のアメリカの輸入関税が、関税が存在しない場合のシナリオと比較して、2030年までに世界のGDPを1.1%押し下げる可能性があるとして推計した。
- ロンドンにおけるLIFFE保有ロブスタコーヒー在庫は2025年7月に35.8%増の118万袋となり、2023年6月の125万袋以来の高水準に達した。
- コーヒー年度2024/25には小幅な余剰が見込まれるものの、主要消費地市場の在庫回復には十分でない可能性がある。

### 新アラビカ契約上場（“AC”）

2025年9月8日（月）より、ICE Futures U.S.は従前発表済みのCoffee “C” Metric先物・オプション契約（契約コード AC、契約サイズ10 メトリックトン）の上場を開始する。

納入産地には以下を含む：

ブラジル、ブルンジ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、インド、ケニア、メキシコ、パプアニューギニア、ニカラグア、パナマ、ペルー、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ、ベネズエラ、ベトナム。

<sup>1</sup> See [Beyond Tariffs: What Next for The Global Economy? - NIESR](#)

原産地別格差：

- メキシコ、エルサルバドル、ニカラグア、パプアニューギニア、タンザニア、ウガンダ、パナマ、ペルー及びホンジュラスはパリティを示す。
- グアテマラはトン当たり110ドルのプレミアム。
- コロンビア、コスタリカ及びケニアはトン当たり220ドルのプレミアム。
- ベネズエラ、ブルンジ、ルワンダ及びインドはトン当たり22ドルのディスカウント。
- ドミニカ共和国及びエクアドルはトン当たり88ドルのディスカウント。
- ブラジル及びベトナムはトン当たり132ドルのディスカウント。

コロンビアンマイルド—アザーマイルド間の格差は、2025年6月から7月にかけて - 3.08セントから - 3.13セントへさらに縮小した。コロンビアンマイルド—ブラジリアンナチュラル間の格差は17.5%拡大し25.32セントとなり、一方コロンビアンマイルド—ロブスタ間の格差は同期間に5.3%縮小し平均155.17セントとなった。アザーマイルド—ブラジリアンナチュラル間の格差は15.5%拡大して28.45セントとなり、アザーマイルド—ロブスタ間の格差は5.2%縮小して158.31セントとなった。ブラジリアンナチュラル—ロブスタ間の格差は8.8%縮小し、2025年7月に129.85セントを平均した。

ロンドンおよびニューヨーク先物市場間で測定されるアービトラージは、2025年7月にさらに7.2%縮小し135.74セントとなった。

図3：ニューヨーク・ロンドン先物市場のアービトラージ

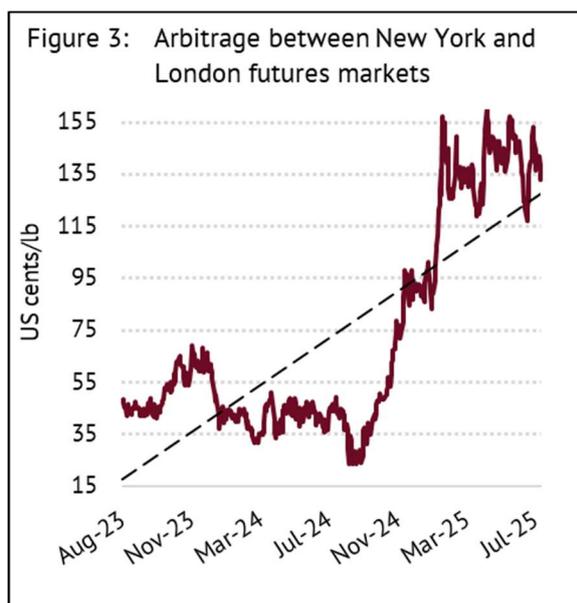
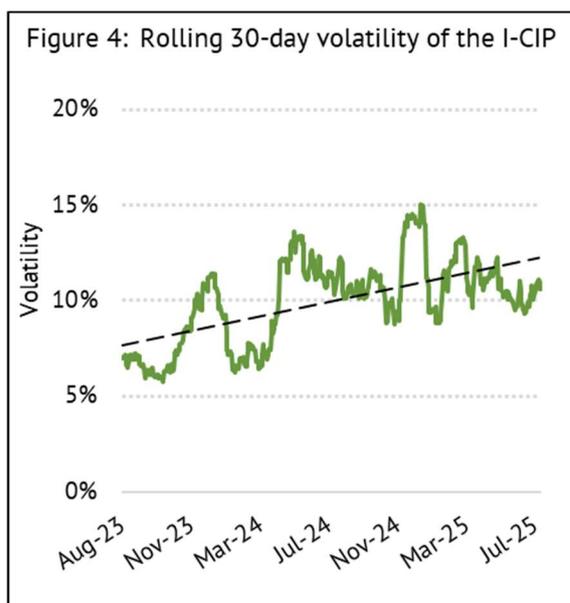
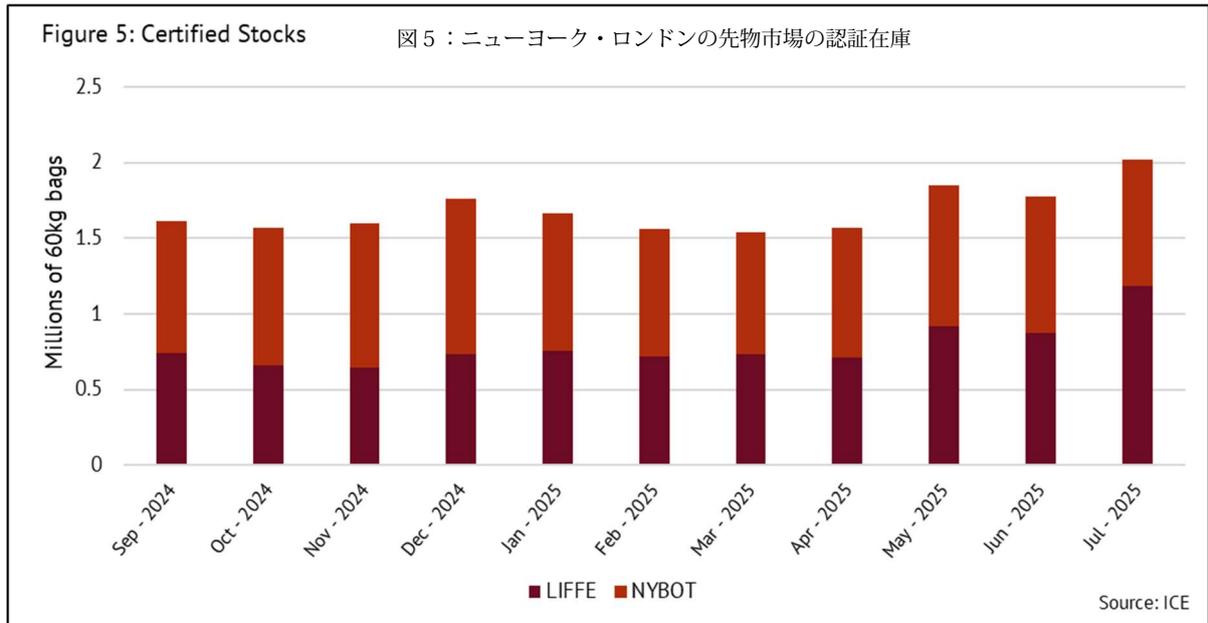


図4：ICO複合指標価格のボラティリティ 30日移動平均



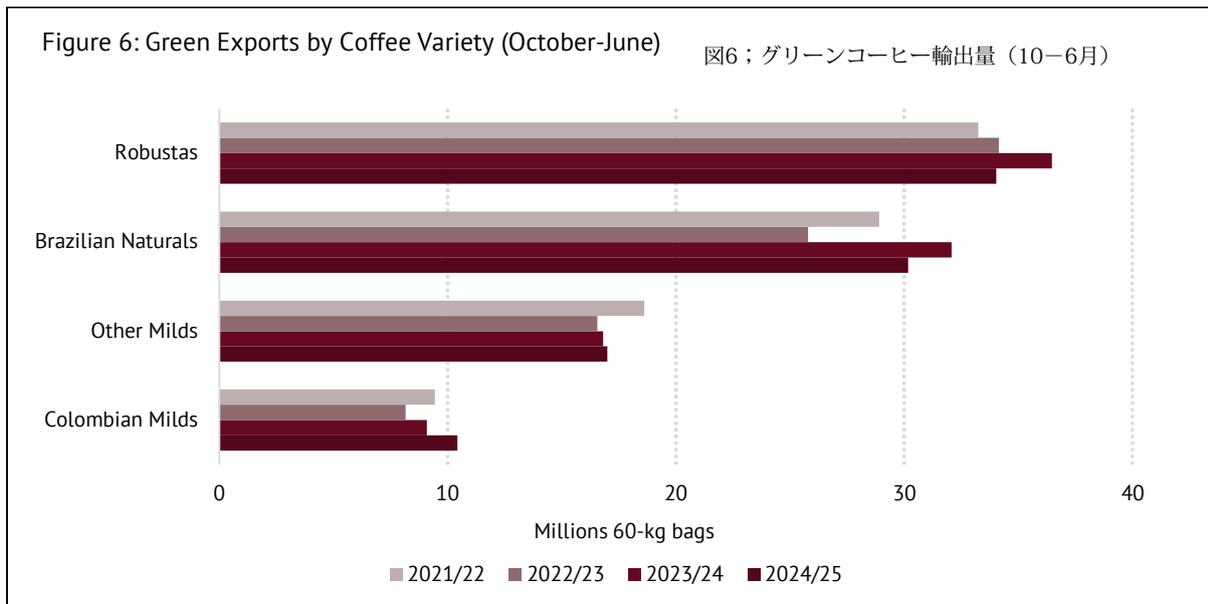
ICO複合指標価格の日中変動率は2025年6月比で0.1ポイント低下し、2025年7月は平均10.2%となった。コロンビアマイルドおよびアザーマイルドの変動率はそれぞれ10.0%および10.1%で横ばいを保った。一方、ブラジルナチュラルは前月比1.3ポイント低下し、7月は10.7%に達した。ロブスタの変動率は10.3%から13.1%へ上昇した。ニューヨークおよびロンドン先物市場では、7月の変動率がそれぞれ11.6%および16.6%となり、いずれも6月比で1.2ポイントおよび6.1ポイント上昇した。

ロンドンにおけるロブスタコーヒーの認証在庫は、2025年6月から7月にかけて35.8%増加し、月末に118万袋となった。アラビカコーヒーの認証在庫は逆の動きを示し、60-kg袋ベースで83万袋に縮小し、6月比8.1%減となった。



## コーヒーグループ別輸出量 生豆

2025年6月、世界の生豆輸出量は1,023万袋となり、2024年6月の991万袋から3.3%増加した。これにより現行コーヒー年度において2か月連続のプラス成長を示した。しかしながら、年初来累計の生豆輸出量は9,168万袋にとどまり、2023年10月～2024年6月の94,520万袋と比較して3.0%減少している。直近の増加は主にロブスタ種によって牽引され、アザーマイルドも強く寄与した。



コロンビアンマイルド輸出量は2025年6月に2024年6月の101万袋から9.0%増の110万袋となった。これは同グループの輸出実績が5月に3.0%減少し、4月にわずか1.1%の増加にとどまった2か月連続の不振に続くものである。

年初来累計輸出量は14.8%増の1,044万袋となり、2023年10月～2024年6月の910万袋から増加した。これは2024年10月～2025年5月の成長率15.5%と比較すると増加ペースが鈍化している。寄与の主因はコロンビアであり、同国の2025年6月輸出量は2024年6月の90万袋から100万袋へ10.4%増加した。

アザーマイルドの出荷量は2025年6月、前年同期の236万袋から14.8%増の271万袋に達し、5カ月連続のプラス拡大を続けた。これによりアザーマイルドの年初来累計輸出量はコーヒー年度2023/24同期の1,677万袋から1,701万袋へ1.4%増加した。上振れ要因は広範囲だが、主要な牽引役はニカラグアであり、同国の輸出量は55.2%増に伴い13万袋の純増を記録した。エチオピア、ホンジュラス、ペルー及びウガンダも二桁成長に寄与し、合わせて27万袋（25.3%増）の純増を達成した。概して、これら4産地におけるコーヒー年度2024/25の収穫増が比較的堅調な業績を説明していると考えられる。

ブラジルナチュラル生豆の輸出量は2025年6月に前年同月（2024年6月）の319万袋から21.3%減の251万袋となった。これは2023年7月以来初めて輸出量が300万袋の水準を下回った事例である。下落の主因はブラジルであり、同国の輸出量は254万袋から28.9%減の181万袋に落ち込んだ。より広範なグループと同様のパターンで、原産地としてブラジルナチュラルの輸出量が200万袋を下回るのは2022年7月（196万袋）以来初となる。また、251万袋は2011年6月（147万袋）以来の低水準である。この急激な落ち込みはベース効果およびブラジルのアラビカ生産の強いサイクル性に起因するとみられる。コーヒー年度2023/24は表作に相当し、ブラジルナチュラルの年間輸出量は前年比21.7%増、2024年6月は2023年6月比で21.3%増を記録した。

ロブスタ生豆の輸出量は2025年6月に前年同月（2024年6月）の335万袋から16.9%増の392万袋となった。好調な伸びの主因はベトナムであり、同国の輸出量は55.4%増の173万袋（純増62万袋）に達した。インドネシアおよびウガンダも二桁成長を牽引し、それぞれ101.2%増（純増18万袋）、47.0%増（純増29万袋）を示した。これに対しブラジルは前年同月の86万袋から45.0%減の47万袋となり、調整要因として働いた。ブラジルの急落は、2023年7月～2024年10月にかけて11248万袋、コーヒー年度2023/24に937万袋と異常に高水準で推移した輸出量が、相対的な正常水準に回帰したことを反映している。

コーヒー年度2024/25年初めの9か月（2025年6月まで）における生豆総輸出量に占めるアラビカの割合は、前年同期の61.4%から62.9%へ上昇した

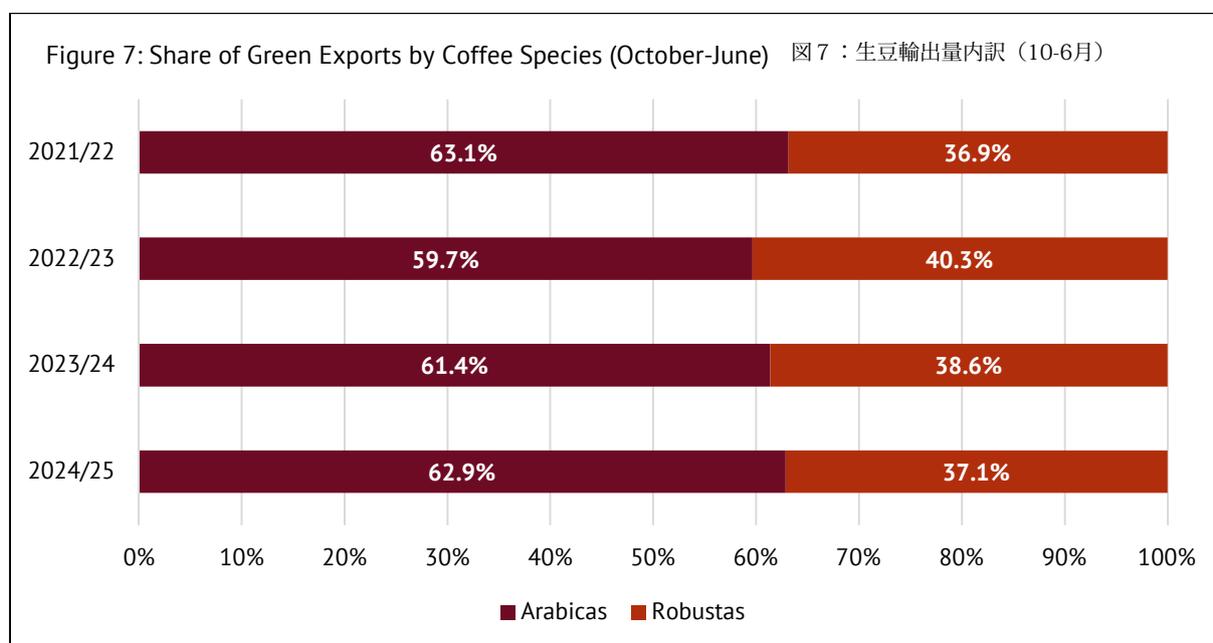
## 地域別コーヒー輸出量 - 全形態

世界全体の全形態のコーヒー輸出量は、2025年6月に1,169万袋となり、2024年6月の1,089万袋から7.3%増加した。しかしながら、年初来累計輸出量は1億414万袋にとどまり、2023年10月～2024年6月の1億433万袋と比較して依然として減少している。

四地域のうち三地域が2025年6月に輸出を拡大し、南米のみが減少を経験した。南米の6月実績は8か月連続の輸出減少となり、同地域の総輸出に占めるシェアは2024年6月の46.7%から2025年6月には35.6%へと押し下げられた。

アジア・オセアニアからのコーヒー全形態輸出量は2024年6月の241万袋から38.6%増の334万袋となった。この拡大は主にベトナムが牽引し、同国の輸出量は2024年6月の120万袋から64.6%増の197万袋に達した。成長率はベース効果の反映であり、2024年6月の輸出量は2010年に102万袋が出荷されて以来、6月としては最低水準であった。2018～2022年の6月平均出荷量は226万袋である。インドネシアも二桁成長に寄与し、同国の輸出量は65万袋と63.2%増加した。これはコーヒー年度2024/25の最初の9か月における8回目の増加であり、年度累計輸出量は671万袋と53.9%増加した。

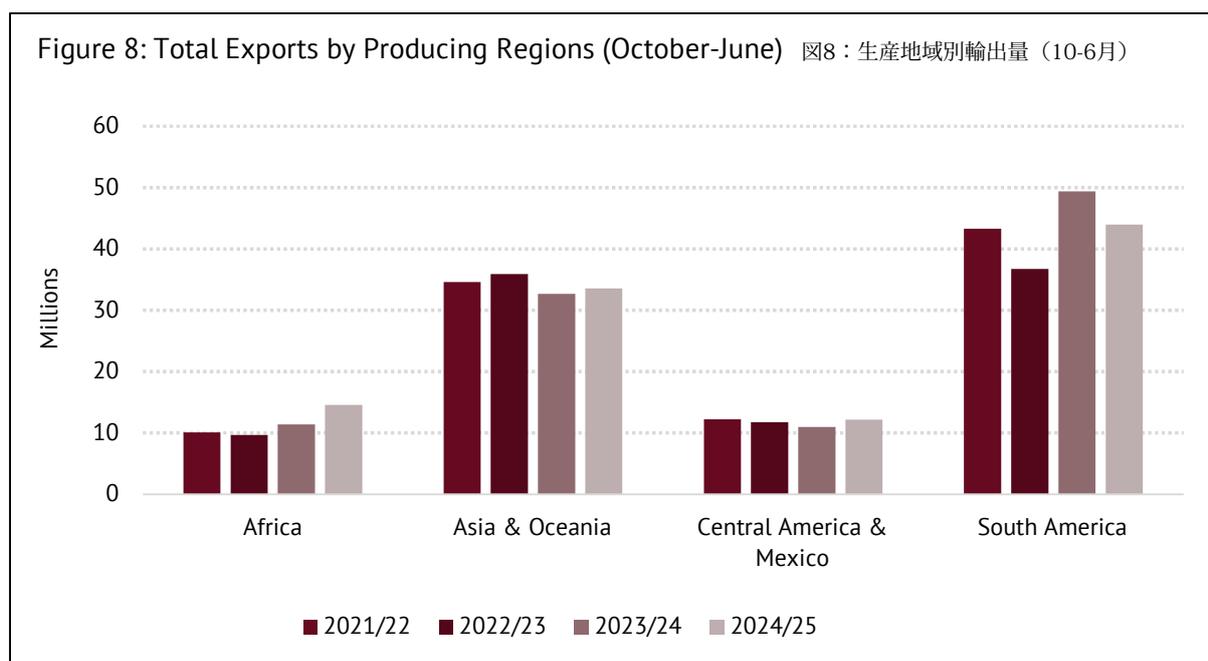
コーヒー年度2024/25における予想以上の収穫が輸出可能供給量を増大させ、力強い輸出実績を支えている。



2025年6月におけるアフリカからの全形態コーヒー輸出量は171万袋から219万袋へ28.1%増加した。地域成長の主因はウガンダであり、同国の輸出は51.4%増の101万袋に達した。豊作、即ち供給の増加、と国際的な生豆価格の高止まりおよび前倒し調達がこの成長を説明する要因である。ウガンダにおいては、グレーター・マサカおよび南西部地域の主収穫からの良好な作況がウガンダコーヒー開発会社によって挙げられた。

エチオピアも二桁成長への強力な要因であり、同国の2025年6月輸出量は72万袋から83万袋へ15.0%増加した。輸出先国数は2024年6月の53か国から2025年には60か国へ拡大し、中国市場への浸透度拡大もエチオピアの成功要因の一端とみられる。エチオピア歳入税関庁によると、2025年1月-6月に同国は中国向けに42万袋を輸出し、前年同期の9万袋から大幅に増加した。

2025年6月、南米の全形態コーヒー輸出量は2024年6月の508万袋から18.1%減少し、416万袋となった。これは同地域において16か月連続のプラス成長の後、8か月連続のマイナス成長を示すものである。下落の主因はブラジルであり、同国の輸出量は2024年6月の380万袋から31.4%減少し、260万袋となった。落ち込みおよびその規模はベース効果によるものである。コーヒー年度2023/24においてブラジルは5010万袋を輸出し、史上最高水準であるとともに、コーヒー年度2022/23の輸出量を1301万袋（35.1%）上回った。この成長の大部分はベトナムの不作による供給問題への対応であり、同国の輸出量はコーヒー年度2023/24で11.7%減少し、純減331万袋を記録した。この供給ギャップの解消により対応圧力は緩和され、ブラジルの輸出量は減少した。

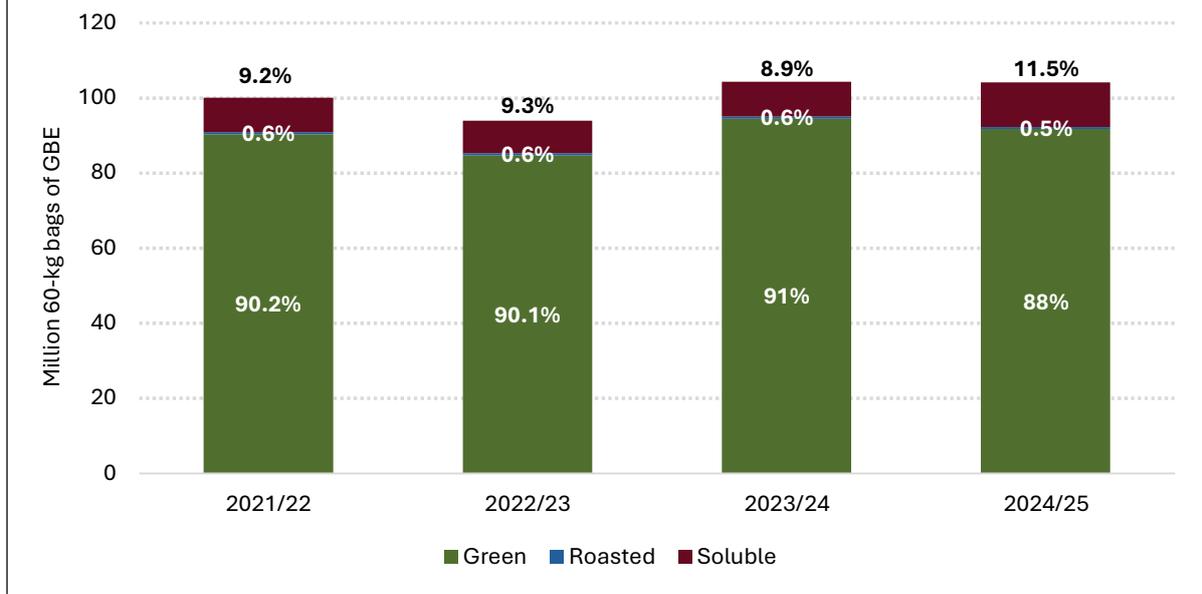


メキシコ・中米地域からの全形態のコーヒー輸出量は2025年6月に200万袋となり、2024年6月の169万袋から18.0%増加した。これはコーヒー年度2024/25年の最初の9か月間において8か月連続の拡大を示し、年初来累計輸出量も11.8%増の1,213万袋を記録した。地域別の最新の上昇局面はニカラグアによる牽引が主因であり、同国は2025年6月に36万袋を輸出し、2024年6月の24万袋から50.6%の増加を示した。同国は過去2年連続で収穫不振に見舞われ、2021/22年度の直近ピークである283万袋から2023/24年度には219万袋に減少した。減少の背景にはエルニーニョ現象が開花後のコーヒーチェリー発育に悪影響を及ぼしたことがある。コーヒー年度2024/25年の生産見通しは279万袋と推計され、今後の輸出増加を支えたと見込まれている。なお、ニカラグアは生産量の平均94%を輸出に充てている。

## 形態別コーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの総輸出量は2025年6月に135万袋となり、2024年6月の94万袋から47.2%増加した。

Figure 9: Total Exports by Form (October-June) 図9：コーヒー形態別輸出量(10-6月)



コーヒー年度**2024/25**（**2024年10月-2025年6月**）におけるコーヒー全形態輸出総量に占めるソリュブルコーヒーのシェアは**11.5%**に上昇し、**2023/24**年度同期間の**8.9%**から増加した。ブラジルは**2025年6月**にソリュブルコーヒーを最大輸出し、**30万袋**を出荷した。

焙煎豆輸出量は**2025年6月**に**2024年6月**の**5万袋**から**58.1%増**の**8万袋**に達した。

**Table 1: ICO daily indicator prices and futures prices (US cents/lb) 表1：ICO複合指標価格と先物価格(UScents/lb)**

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
<b>Monthly averages</b>							
Aug-24	238.89	263.67	261.38	242.15	214.69	239.29	197.81
Sep-24	258.84	279.27	278.52	257.24	241.93	254.43	225.13
Oct-24	250.56	277.10	276.82	255.85	221.93	250.62	207.11
Nov-24	270.72	306.21	304.98	285.59	226.11	277.04	214.43
Dec-24	299.61	341.00	343.34	326.97	236.73	317.00	226.28
Jan-25	310.12	351.93	354.47	339.18	245.29	328.94	234.33
Feb-25	354.32	410.64	409.48	401.10	263.08	388.18	253.48
Mar-25	347.85	404.97	404.02	392.48	257.61	382.75	247.63
Apr-25	335.76	394.14	392.84	378.27	246.39	370.37	235.69
May-25	334.41	395.59	397.84	380.02	237.76	368.21	224.63
Jun-25	295.06	360.08	363.16	338.53	196.21	329.56	183.21
Jul-25	259.31	322.37	325.50	297.04	167.19	289.17	153.43
<b>% change between Jun-25 and Jul-25</b>							
	-12.1%	-10.5%	-10.4%	-12.3%	-14.8%	-12.3%	-16.3%
<b>Volatility (%)</b>							
Jun-25	10.1%	10.0%	10.1%	12.0%	10.3%	10.4%	10.5%
Jul-25	10.2%	10.0%	10.1%	10.7%	13.1%	11.6%	16.6%
<b>Variation between Jun-25 and Jul-25</b>							
	0.1	0.0	0.0	-1.3	2.8	1.2	6.1

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

**Table 2: Price differentials (US cents/lb) 表2：価格差 (US cents/lb)**

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Aug-24	2.29	21.53	48.98	19.24	46.69	27.45	41.48
Sep-24	0.75	22.03	37.34	21.28	36.60	15.31	29.30
Oct-24	0.28	21.25	55.17	20.97	54.89	33.92	43.50
Nov-24	1.24	20.62	80.10	19.38	78.87	59.48	62.60
Dec-24	-2.34	14.03	104.27	16.37	106.61	90.24	90.72
Jan-25	-2.54	12.75	106.64	15.30	109.18	93.88	94.60
Feb-25	1.16	9.54	147.56	8.37	146.40	138.03	134.70
Mar-25	0.95	12.49	147.37	11.54	146.42	134.87	135.11
Apr-25	1.30	15.87	147.75	14.57	146.44	131.87	134.67
May-25	-2.25	15.57	157.83	17.83	160.09	142.26	143.58
Jun-25	-3.08	21.55	163.86	24.63	166.95	142.32	146.35
Jul-25	-3.13	25.32	155.17	28.45	158.31	129.85	135.74
<b>% change between Jun-25 and Jul-25</b>							
	1.6%	17.5%	-5.3%	15.5%	-5.2%	-8.8%	-7.2%

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

Table 3: World Supply/Demand Balance

表3：世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
<b>PRODUCTION</b>	<b>169.8</b>	<b>168.4</b>	<b>170.8</b>	<b>168.0</b>	<b>168.2</b>	<b>178.0</b>	<b>5.8%</b>
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
<b>CONSUMPTION</b>	<b>171.2</b>	<b>168.6</b>	<b>169.9</b>	<b>176.6</b>	<b>173.1</b>	<b>177.0</b>	<b>2.2%</b>
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
<b>BALANCE</b>	<b>-1.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>0.9</b>	<b>-8.6</b>	<b>-4.9</b>	<b>1.0</b>	

\*preliminary estimates

Table 4: Total exports by exporting countries

表4：輸出国の総輸出量

	Jun-24	Jun-25	% change	Year to Date Coffee Year		
				2023/24	2024/25	% change
<b>TOTAL</b>	<b>10,892</b>	<b>11,689</b>	<b>7.3%</b>	<b>104,332</b>	<b>104,141</b>	<b>-0.2%</b>
Arabicas	7,125	7,077	-0.7%	63,398	63,506	0.2%
<i>Colombian Milds</i>	1,090	1,292	18.5%	9,799	11,361	15.9%
<i>Other Milds</i>	2,611	3,030	16.0%	19,124	19,591	2.4%
<i>Brazilian Naturals</i>	3,423	2,756	-19.5%	34,475	32,554	-5.6%
Robustas	3,768	4,612	22.4%	40,935	40,634	-0.7%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表5：ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

Table 5: Certified stocks on the New York and London futures markets

	Aug-24	Sep-24	Oct-24	Nov-24	Dec-24	Jan-25	Feb-25	Mar-25	Apr-25	May-25	Jun-25	Jul-25
New York	0.91	0.87	0.91	0.95	1.03	0.91	0.84	0.80	0.85	0.93	0.91	0.83
London	1.01	0.74	0.66	0.65	0.73	0.76	0.72	0.74	0.71	0.92	0.87	1.18

In million 60-kg bags

### 表3に関する注記

各年度、事務局は加盟国から提供される統計を基に年次生産量、消費量、貿易量および在庫量の推計・予測を行う。ICC-120-16文書パラグラフ100に記されるとおり、加盟国から得られる情報が不完全、遅延または矛盾を含む場合には、他の情報源からのデータで補足・補完し得る。また、非加盟国の需給バランスシート作成に際しても、複数の情報源を検討する。

事務局は、世界全体の需給バランスを検証するにあたり、毎年10月1日に始まるいわゆるマーケティングイヤー（コーヒー年）の概念を採用する。コーヒー生産国は世界各地に分布し、収穫から次の収穫までの12か月間を1作期（クロップイヤー）とするが、その開始時期は国により異なる。事務局が現行で採用する作期の開始日は4月1日、7月1日および10月1日である。一貫性を維持するため、各国の収穫月に応じて生産データを作期ベースからマーケティングイヤーベースへ変換する。コーヒー年を基準に世界の生豆需給および価格分析を行うことで、市場状況の検証を同一期間内に実施可能としている。

例えば、コーヒー年度2020/21は2020年10月1日に開始し、2021年9月30日に終了する。しかし、作柄年度が4月1日に始まる生産者では、作柄年度生産量が二つのコーヒー年度にまたがる。ブラジルの2020/21作柄年度は2020年4月1日から2021年3月31日までで、コーヒー年度2020/21前半をカバーする。これに対し、2021/22作柄年度は2021年4月1日から2022年3月31日までで、コーヒー年度2021/22後半を包含する。作柄年度生産量を単一のコーヒー年度へ組み込むため、事務局は2020/21作柄年度（2020年4月～2021年3月）生産量の一部および2021/22作柄年度（2021年4月～2022年3月）生産量の一部を2020/21コーヒー年度生産量として按分する。

また、コーヒー年度生産見積りは各国単位で作成されるものの、あくまで分析目的で一貫した統合的供給需給バランスを構築するためのものであり、各国現地で実際に行われる生産を示すものではない点に留意されたい。

注：提供された資料は、国際コーヒー機関（ICO）を情報源として明示的に認める場合に限り、電子的または機械的手段を含むいかなる形式・手段であっても、全部または一部を使用、複製、送信できる。

\*\*\*\*\*